

啓明学園 初等学校・中学校・高等学校  
国際教育センター 電子メール通信

隣人（となりびと）E No. 99 - 5  
国際教育センターから皆様へ 1999.3.16

[季節風] **碓氷遊び** (桃の節供)

中国暦の3月3日は「上巳(じょうし)」ですが、日本では江戸時代まで、**田植えが始まる直前の禊**(みそぎ=身も心も清める)のため海や川に行く風習でした。今の暦でいえば4月中旬ですから、「潮干狩り」や「流し糺」をしても寒くはないし、**桃も咲きました**。

また、田の神を迎える儀式(アジアの稲作文化に共通)のため、山や丘にも登りました。その際の「**糺の国見せ**」が、**糺壇飾り**の起源だそうです。

### 国際教育センター関係者会議

3月11日(木) 14:30~17:00

理事長の招集で、初等学校・中学・高校の管理職と、国際教育センター関係者が集まり、本年度の総括と課題が話し合われました。まず小山ディレクターから国際交流関係の報告を行い、続いて久保主任(中学・高校国際教育部)が、今回の国際生の入試状況、及び本年度の国際学級の状況について報告しました。

**入試**では、中学・高校とも年々少しずつ受験者数が減少していること、事前面接を受けた生徒全員を受験させることができたこと(前年64%)、日本語コース生の入学が大幅に減ったこと(都立高校の受入れが増大)などが注目されます。合格者が国公立に流れる点は、仕方ないでしょう。

他方、**随時編入**の受験者数は例年と変わっていません。初等学校では、帰国生を受け入れる私立小学校が少ないこともあって、定員一杯になる学年が出てきました。4~5年生で編入する帰国生の中には、高校段階で学年をリードする存在になる者が多いのですが、受け入れが難しくなるのは残念なことです。中学・高校でも生徒数が増え、従来なら合格できたレベルの帰国生が不合格になる例が出始めています。

外国語保持の授業は、帰国生の76%(約280名)が受講していますが、他の教科の**取り出し授業**では、2~3割程度。つまり例年70~90名で一定(4月は少なく、年度末に向け増えていく)です。編入・入学する帰国生は毎年70名以上ありますから、外国語保持以外の教科で取り出し授業を終えて一般クラスに移る者も、ほぼ同数いることが解ります。

14年前まで400名余りだった児童生徒数が1,100名を超える規模になり、「国際生と一般生との相互啓発の環境」が希薄になる傾向が認められるようになりました。会議の焦点もそこに絞られていき、職員研修のあり方、学力観の再考、生徒の“居場所”づくり、などが話し合われました。

1998年度 高校卒業生の特別表彰<3月1日(月)卒業式>

**皆勤賞：6カ年皆勤**(中学・高校) = 臼井友美・町田修子・呉崇史 / **3カ年皆勤** = 市村絵里・梅田佳代子・押木裕哉・加瀬郁子・神谷薫・佐藤重彦・高田聖基・服部文貴 / **1カ年皆勤** = 相澤真諭子・明石理菜・宇佐美愛里・山田和都(計15名) **特別賞：東京都知事賞** = 服部文貴 / **体育優良生賞** = 佐々木久美子 / **学園長賞** = 中山佳織 / **東京昭島ロータリークラブ会長賞** = 岡田多美 / **同窓会フレンドシップ賞** = 木村通子・佐藤竜介

**[国際生紹介] 清宮尚子さん**(初等6年)

米アリゾナ州から帰国し、初等1年に編入しました。明るく、しっかりした性格で“華”を感じさせます。児童会長も勤めました。帰国後5年も経つのに、校内TOEFL試験で高得点を取っていて、どこまで伸びていくかが楽しみです。

**[お知らせ] プラスバンド部卒業記念公演** 3月25日(木)2時~。入場無料。  
於：ルネ小平(西武新宿線「小平駅」から徒歩5分)

**ひと口ニュース** News・News・News・News・News・

2月26日、**海外の生活と教育を考える会**<新宿>。テーマはカリフォルニア。

2月28日、秋賢淑先生(ハングル語)の結婚披露宴。料理は韓国の宮廷料理でした。

3月3日、**横田基地イースト校**から児童約50名が来校。5年生と餅つきやゲームをして、楽しい交歓会でした。北泉寮に飾られた立派なお雛様も、とても喜ばれました。

3月4日、国立国語研究所から日本語教育調査で2名来校。

3月6日、**P T A北泉寮**を楽しむ会。フルート・コンサートと講演、懇談。

3月7日、**全国高校国際理解ネットワーク全国大会**<大阪>。

3月8日、**国連婦人デー**。男女機会均等への道は、まだまだ遠い.....

3月10日、**海外教育相談フォーラム**<新宿>。アメリカ留学希望者を対象にしたイベントで、大学が多数参加しました。

3月12日、中国体験学習オリエンテーション(高校)。出発は28日。安徽省の姉妹校、信男教育学園を訪ねて交流するほか、厦門も訪れます / **アジア・アフリカ協力会**。

-----  
啓明学園 国際教育センター

〒196-0002 東京都昭島市拝島町5 1 1 1 5

TEL:042-541-1003 FAX:042-546-5881

Home Page(URL) <http://www.keimei.ac.jp>

E-mail Address: [kubo@keimei.ac.jp](mailto:kubo@keimei.ac.jp)  
-----

啓明学園 初等学校・中学校・高等学校

国際教育センター 電子メール通信

隣人(となりびと) E No. 99-5

国際教育センターから皆様へ 1999.3.16

[季節風] 磯遊び(桃の節供)

中国暦の3月3日は「上巳(じょうし)」ですが、日本では江戸時代まで、田植えが始まる直前の禊(みそぎ=身も心も清める)のため海や川に行く風習でした。今の暦でいえば4月中旬ですから、「潮干狩り」や「流し雛」をしても寒くはないし、桃も咲きました。また、田の神を迎える儀式(アジアの稲作文化に共通)のため、山や丘にも登りました。その際の「雛の国見せ」が、雛壇飾りの起源だそうです。

国際教育センター関係者会議 3月11日(木) 14:30~17:00

理事長の招集で、初等学校・中学・高校の管理職と、国際教育センター関係者が集まり、本年度の総括と課題が話し合われました。まず小山ディレクターから国際交流関係の報告を行い、続いて久保主任(中学・高校国際教育部)が、今回の国際生の入試状況、及び本年度の国際学級の状況について報告しました。

入試では、中学・高校とも年々少しずつ受験者数が減少していること、事前面接を受けた生徒全員を受験させることができたこと(前年64%)、日本語コース生の入学が大幅に減ったこと(都立高校の受入れが増大)などが注目されます。合格者が国公立に流れる点は、仕方ないでしょう。

他方、随時編入の受験者数は例年と変わっていません。初等学校では、帰国生を受け入れる私立小学校が少ないこともあって、定員一杯になる学年が出てきました。4~5年生で編入する帰国生の中には、高校段階で学年をリードする存在になる者が多いのですが、受け入れが難しくなるのは残念なことです。中学・高校でも生徒数が増え、従来なら合格できたレベルの帰国生が不合格になる例が出始めています。

外国語保持の授業は、帰国生の76%(約280名)が受講していますが、他の教科の取り出し授業では、2~3割程度。つまり例年70~90名で一定(4月は少なく、年度末に向け増えていく)です。編入・入学する帰国生は毎年70名以上ありますから、外国語保持以外の教科で取り出し授業を終えて一般クラスに移る者も、ほぼ同数いることが解ります。

14年前まで400名余りだった児童生徒数が1,100名を超える規模になり、「国際生と一般生との相互啓発の環境」が希薄になる傾向が認められるようになりました。会議の焦点もそこに絞られていき、職員研修のあり方、学力観の再考、生徒の“居場所”づくり、などが話し合われました。

1998年度 高校卒業生の特別表彰<3月1日(月)卒業式>

皆勤賞:

6カ年皆勤(中学・高校)= 臼井友美・町田修子・呉崇史 /

3カ年皆勤= 市村絵里・梅田佳代子・押木裕哉・加瀬郁子・神谷薫・佐藤重彦・高田聖

基・服部文貴 /

1 学年皆勤 = 相澤真諭子・明石理菜・宇佐美愛里・山田和都 (計 15 名)

特別賞：東京都知事賞 = 服部文貴 / 体育優良生賞 = 佐々木久美子 / 学園長賞 = 中山佳織 /  
東京昭島ロータリークラブ会長賞 = 岡田多美 / 同窓会フレンドシップ賞 = 木村通子・佐藤竜介

[ 国際生紹介 ] 清 宮 尚 子さん (初等 6 年)

米アリゾナ州から帰国し、初等 1 年に編入しました。明るく、しっかりした性格で  
“ 華 ”  
を感じさせます。児童会長も勤めました。帰国後 5 年も経つのに、校内 T O E F L 試験で  
高得点を取っていて、どこまで伸びていくかが楽しみです。

[ お知らせ ] プラスバンド部卒業記念公演 3 月 2 5 日 (木) 2 時 ~。入場無料。

於：ルネ小平 (西武新宿線「小平駅」から徒歩 5 分)

ひと口ニュース News・News・News・News・News・

2 月 2 6 日、海外の生活と教育を考える会 < 新宿 >。テーマはカリフォルニア。

2 月 2 8 日、秋賢淑先生 (ハンゲル語) の結婚披露宴。料理は韓国の宮廷料理でした。

3 月 3 日、横田基地イースト校から児童約 5 0 名が来校。5 年生と餅つきやゲームをして、楽しい交歓会でした。北泉寮に飾られた立派なお雛様も、とても喜ばれました。

3 月 4 日、国立国語研究所から日本語教育調査で 2 名来校。

3 月 6 日、P T A 北泉寮を楽しむ会。フルーツ・コンサートと講演、懇談。

3 月 7 日、全国高校国際理解ネットワーク全国大会 < 大阪 >。

3 月 8 日、国連婦人デー。男女機会均等への道は、まだまだ遠い.....

3 月 1 0 日、海外教育相談フォーラム < 新宿 >。アメリカ留学希望者を対象にしたイベントで、大学が多数参加しました。

3 月 1 2 日、中国体験学習オリエンテーション (高校)。出発は 2 8 日。安徽省の姉妹校、信男教育学園を訪ねて交流するほか、厦門も訪れます / アジア・アフリカ協力会。

-----  
啓明学園 国際教育センター

〒196-0002 東京都昭島市拝島町 5 1 1 1 5

TEL:042-541-1003 FAX:042-546-5881

Home Page(URL) <http://www.keimei.ac.jp>

E-mail Address: [kubo@keimei.ac.jp](mailto:kubo@keimei.ac.jp)  
-----